

第 23 回日本産業ストレス学会開催報告

平成 27 年 12 月吉日

12 月 11 日(金)～12 日(土)に京都テルサで開催した、第 23 回日本産業ストレス学会には約 900 名と多数の方々にご参加いただき、盛会裏に終了することが出来ました。開催に際して、多くの方からご支援とご協力を頂き、誠に有難うございました。

本大会では、特別講演 2 題、教育講演 3 題、ワークショップ 1 題、シンポジウム 4 セッション、一般演題 64 題、ランチョンセミナー4セッションの発表が行われました。

特別セッションでは、EBM と産業保健、認知行動療法、ワーク・エンゲイジメント、自殺対策、発達障がい、復職支援、メンタルヘルスの一次予防策、ストレスチェック、休職者へのグループセラピーなど幅広いテーマを取り上げ、それぞれ活発な討議を頂きました。

本大会の特別企画として、一般演題から優秀演題賞を選考し、井上彰臣先生と岩根能幹先生が選出され、閉会式の前に表彰式を行いました。また学会本部からの表彰として、学会賞に丸山総一郎先生、功労賞に夏目誠先生、奨励賞に島津明人先生が選出され、総会の後に表彰式と記念講演が行われました。

12 月 12 日夕刻からの薬物依存に関する市民公開講座（京都市と共催）、12 月 13 日（日）の研修会にも、多数のご参加をいただきましたこともあわせてご報告いたします。

本大会が、今後の皆様の研究並びに実践活動のお役に立つことを願っております。

第 23 回 日本産業ストレス学会

会 長：森崎 美奈子

(京都文教大学臨床心理学部臨床心理学科教授／産業メンタルヘルス研究所所長)

副 会 長：森口 次郎

(一般財団法人京都工場保健会診療所副所長)